

臨床研究に関する公開情報

国立病院機構西新潟中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法等についてお知りになりたい方や、この研究のためにご自分のデータが使用されることをお望みでない方は、下記「問い合わせ先」に連絡をお願いします。なお、個人情報や、研究の知的財産等、お問い合わせ内容によっては、お答えできない場合もありますのでご了承ください。

記

〔研究課題名〕

外来リハビリテーションと病院のブログを活用して家族指導を併用した筋ジストロフィー患者への MI-E 導入の効果

〔研究責任者〕

西新潟中央病院リハビリテーション科運動療法主任 植木健斗

〔研究の目的〕

デュシェンヌ型筋ジストロフィーの患者は進行性の呼吸筋力低下を伴い、呼吸管理・排痰ケアが重要です。東埼玉病院では月に 1 回の外来リハビリテーションと患者さんとその家族への教育・指導を併用し、機械的咳介助装置（MI-E）を導入しています。しかし、家庭によっては MI-E の意義や使用方法に不安があり、実施しない場合も臨床的に散見されます。本症例では、国立病院機構東埼玉病院のブログを用いて MI-E の使用意義と使用方法を患者とその家族への教育・指導を徹底し、介入期間で MI-E の導入前後の呼吸機能評価結果を比較検討を行うことで今後のデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者さんのためのリハビリテーション治療の貢献を目的に行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者さんで 2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に機械的咳介助装置（MI-E）を導入した方

●研究期間

院長承認後から 2025 年 3 月 31 日

●利用する検体やカルテ情報

・カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、呼吸機能検査）

●検体や情報の管理

検体や情報は、国立病院機構東埼玉病院と国立病院機構西新潟中央病院のみで利用します。

〔研究組織〕

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である国立病院機構東埼玉病院が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構西新潟中央病院

所属；リハビリテーション科

職名：運動療法主任

氏名：植木健斗

電話： 025-265-3171（代表）